

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します

17小学校区での自由枠交付金の使い方などを紹介！！



地域で生きる自由枠交付金

Part 3

総社北小学校区地域づくり協議会

●自由枠交付金制度の活用について

各町内会が一つにまとまり、地域のことは地域全体で取り組めるようになったので、各町内会同士の結びつきが強くなりました。また、約90灯の防犯灯をLED化することができるなど、地域の判断による幅広い活動が可能となりました。

●今後の課題

さらに有効活用するためには、この制度を地域住民に周知する必要があります。そのためにも、全ての住民が参加できるような、さまざまなイベントなどを企画していきたいです。そして、地域で支えあい、子どもがこの地域を大切なふるさとだと思えるような活動をしたいです。



1月11日に、総社北小学校で行われたどんど祭り。多くの地域住民が参加し、交流を深めた

主な活動内容

部会名	活動内容
地域福祉部会	敬老会、サロン活動
土木・環境衛生部会	クリーン作戦、廃品回収活動
交通部会	交通安全教室の開催、交通安全立上り、のぼり旗の設置
防犯部会	防犯灯設置・修繕（LED化）、防犯教室の開催、登下校時の児童の見守り活動
地域文化部会	夏祭り、どんど祭り、町内合同運動会
防火・防災部会	防災グッズの整備、防災訓練の開催

総社北小学校区地域づくり協議会会長

矢吹 雄三さん

「自分たちの地域は、自分たちで住みよい地域にしていこう」という思いをもって、住民全員が協力し、地域づくりを進めていきたいです。



裏方でランナーを応援しています

私たちが総社市婦人協議会では、そうじや吉備路マラソンに第1回大会から毎回ボランティアで参加しています。受け付けの手伝いやコーヒースービス、給水所の担当などいろいろしてきまして、ここ3年は会場の清掃にまわっています。ごみ箱のごみの整理、トイレの清掃などを、スタート地点武道館、多目的広場、アリーナなどの各部所に分かれ、がんばっています。昨年もごみ袋の交換をしていると、「ありがとう」と声を掛けてもらったり、重いごみ袋を運んでくれると、「楽しいマラソンをすることができました」と感謝の気持ちの声を掛けてもらったり

しました。大会終了後、ごみ袋に詰まったごみの山を見ると、満足感を味わいます。全国からマラソンに参加してくださる選手の皆さんに気持ちよく走っていただけたらいい、そして「総社に来てよかった、総社はすばらしい」と言っていただけなのに、いつも笑顔で迎えたいと思います。今年も婦人会一同がんばります。

（総社市婦人協議会副会長 横山三恵子さん・原）

12月27日に行われた総社市ではじめての「第九」に、総社東中学校合唱部も参加させていただきました。

いつもはほかの合唱団の人と歌う機会はありませんが、今回は「総社第九記念合唱団」として、市民や、くらしき作陽大学の人のつしよに歌うという普段はできない経験ができました。オーケストラの演奏に合わせて歌うことも、ドイ

ソ語で歌うことも初めてだったので不安もありましたが、実際に合わせてみるととても迫力があり爽快でした。

ステージは、オーケストラのすばらしい演奏から始まり、最後は、オーケストラと200人の歌声が重なり、盛大に幕を閉じました。会場が一体となり、拍手が鳴り止みませんでした。この瞬間、大変だったけどやり遂げた達成感と、このすばらしい舞台に参加することができたという感動で胸がいっぱいになりました。「第九」に参加し、いろいろな経験ができたこと、心から感謝しています。

（総社東中学校合唱部 吉村有咲さん・地頭片山）

拍手が鳴り止まなかった「初めての第九」



拍手が鳴り止まなかった「初めての第九」



市長が該当者に1万円を手渡した

総社市国民健康保険主要数値

1. 単年度実質収支黒字化
平成26年度 約7000万円の黒字
(平成25年度 約400万円黒字)
2. 特定健康診査受診率向上
平成26年度 27.9%
(平成25年度 27.2%)

積極的に健康の推進に努めた国民健康保険加入世帯に1万円を支給する「国保健康で1万円キャッシュバック」制度に該当した82世帯のうち19世帯に1月13日、市役所で市長が現金を手渡しました。

支給対象は、平成26年度中に保険診療を受けず、世帯に40歳以上の被保険者が全員特定健診を受診、国保税を完納という条件を満たした国保加入世帯。受

けたった女性は、「この制度が健康に気を付けるきっかけになりました」と話しました。

同制度は、病院に一度も行かなかった人に特定健診の受診を促し、病気の早期発見、早期治療を行うことで生活習慣病の重症化を防ぐことを目的に、平成25年9月から全国初の取り組みとしてスタートしました。

問い合わせ 健康医療課 保険年金係 ☎8257

総社市健康施策 健康で1万円 キャッシュバック

「そうじや消防署カレー」、「そうじやセロリのミネストローネ」が当たる

広報クイズ

今月の『広報そうじや』を読んで、次のクイズに答えてください。

Q1 今後10年間のまちづくりの指針を定めた第2次総社市総合計画。目指す都市像は、「岡山・倉敷に並ぶ新都心 総社 ～全国屈指の都市～」

【応募方法】 はがきかメールに答えと住所、氏名、電話番号、市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集室へ。正解者のなかから2人に「そうじや消防署カレー」を2個、「そうじやセロリのミネストローネ」1個をセットで贈ります。

【応募期限】 2月29日(月)
【12月号の答え】 うた自慢
【12月号の当選者】 三枝智子さん(井手)、吉澤光子さん(清音古地)

【応募先】 総社市役所市政情報課 〒719-1192 中央一丁目1番1号 ☎ shisei@city.soja.okayama.jp

人口・世帯数 (平成28年1月1日現在)

人口 67,978人 (前月比+8人)
(うち外国人登録814人 前月比+36人)
男 33,006人 (前月比-6人)
女 34,972人 (前月比+14人)
世帯数 26,040世帯 (前月比+40世帯)

市民憲章

わたしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び
明るく家庭をきずきましょう。
- 1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましょう。

市の花・木・鳥

◎市の花/れんげ ◎市の木/もみじ ◎市の鳥/タンチョウ